

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部

(第14回) 議事録

日時：令和2年2月14日（金） 8：15－8：25

場所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、菅内閣官房長官、高市総務大臣・内閣府特命担当大臣、森法務大臣、茂木外務大臣、萩生田文部科学大臣、加藤厚生労働大臣、江藤農林水産大臣、梶山経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、赤羽国土交通大臣、小泉環境大臣・内閣府特命担当大臣、河野防衛大臣、田中復興大臣、武田国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、衛藤内閣府特命担当大臣、竹本内閣府特命担当大臣、西村内閣府特命担当大臣、北村内閣府特命担当大臣、橋本東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣・内閣府特命担当大臣、西村内閣官房副長官、岡田内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

【橋本大臣】

ただ今から、「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」の第14回会合を開催します。私の方で進行を務めさせていただきます。

《2020年東京大会に向けた最近の取組について》

それでは議事に入ります。2020年東京大会に向けた最近の取組について、平田事務局長から説明いたします。

【平田事務局長】

資料1-1をご覧ください。最近の取組についてです。

セキュリティでは、調整センターを設置し、活動調整や情報共有を行います。

交通対策では、大会輸送と経済活動、市民生活との共存に向けて、多くの方々の御理解・御協力をいただきながら、資料1-2に示す各種対策に政府一丸となって取り組む必要があります。

暑さ対策では、情報発信を強化します。

感染症対策では、推進計画に基づき、新型コロナウイルスを含め、感染症の流入・拡大防止に万全を期します。風しん・麻しんの予防接種も実施します。

復興五輪については、復興ありがとうホストタウンが30自治体まで、ホストタウンでは、相手国が大会参加の8割の163か国まで増加しています。

共生社会の実現では、69自治体が登録している共生社会ホストタウンを拡充するとともに、心のバリアフリーを強化します。

文化では、日本博を、来月のオープニングセレモニーを皮切りに全国で展開します。また、文化観光を推進します。選手村で食文化を発信します。

オリンピックのマラソン・競歩の札幌での競技実施を含め、大会の成功に向けて準備を加速させます。

【橋本大臣】

それでは、これまでの説明に対し、御発言をお願いいたします。まず、茂木外務大臣、よろしく申し上げます。

①茂木外務大臣

昨年12月、国連総会で日本が提出したオリンピック休戦決議が全会一致で採択されました。大会の成功に向けて、要人接遇、日本の様々な魅力発信等、しっかり対応してまいります。

②萩生田文部科学大臣

ラグビーワールドカップは、皆様の御尽力により成功を収めることができ、感謝申し上げます。

日本代表選手の活躍は大会の成功に不可欠です。メダル獲得に向けた競技力向上等に引き続き取り組んでまいります。

また、大会を契機とした文化・観光の振興、地域活性化の好循環を生み出すため、新たな法案を国会に提出しました。

③加藤厚生労働大臣

新型コロナウイルス感染症について、水際対策の強化や、国内での検査体制や医療提供・相談体制の充実といったまん延防止対策に全力を挙げるとともに、昨年8月策定の推進計画に基づき、必要な感染症対策を行ってまいります。

④江藤農林水産大臣

組織委員会等と連携して、選手村の食堂に被災県を含む47都道府県の食材を提供します。各国の選手に地域の豊かな食を楽しんでいただきます。

⑤赤羽国土交通大臣

大会期間中の円滑な輸送の実現に向け、物流分野でのさらなる交通量削減や首都高のロードプライシング等を着実に進めますとともに、外国人旅行者の地方への来訪促進、バリアフリー法の改正等を通じた共生社会の実現に取り組んでまいります。

⑥小泉環境大臣

熱中症対策として、暑さ指数を競技会場周辺で測定・提供するほか、訪日外国人等への普及啓発を強化してまいります。

⑦田中復興大臣

大会が「復興五輪」として、被災地の方々を勇気付け、復興を後押しするものとなるよう、被災地等と緊密に連携し、復興しつつある被災地の姿や魅力を積極的に発信してまいります。

⑧武田国家公安委員会委員長

大会期間中は、首都高速道路等で必要な交通規制を適切に実施いたしますとともに、その前提となる交通総量抑制対策についても、関係機関等と連携し、着実に推進してまいります。

【橋本大臣】

ありがとうございました。私も、新型コロナウイルスへの対応で、競技団体等の不安解消や適切な対応のため、昨日、相談窓口を設置しました。競技団体、ホストタウンを含む関係自治体との情報連携の強化に取り組んでまいりますので、関係各省でも御協力をお願いします。

ここで、プレスが入室いたします。

[プレス入室]

【橋本大臣】

安倍内閣総理大臣から御挨拶を頂きたいと存じます。よろしくお願いたします。

【安倍内閣総理大臣】

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会まで、いよいよ半年。東京大会のシンボルともなる国立競技場が、昨年末に完成し、その他の競技施設も続々と整備されるなど、開催準備もいよいよ大詰めを迎えています。

来月26日には、福島のリレーから全国に向けて、聖火リレーが走り出します。私も、是非訪問して、被災地の皆様と共に、東日本大震災から復興しつつある被災地の姿を、世界に力強く発信したいと思います。

既に、全国500近くの市町村がホストタウンとなり、世界中の国や地域との交流を進めるとともに、共生社会の実現に向けて大きく歩みを進めるための共生社会ホストタウンの取組も広がるなど、全国津々浦々に盛り上がり広がっています。

その上で、大会の成功には、開催国として安心・安全をしっかりと確保することが不可欠です。セキュリティの確保と、大会輸送と経済活動、市民生活とを共存させる交通対策は大会運営の基盤です。加えて、暑さ対策、感染症対策などに、東京都、組織委員会等と緊密に連携しながら遺漏なく準備に取り組んでください。

日本全体が力を合わせて、世界中に感動を与える最高の大会とするために、各閣僚におかれては、橋本大臣を中心に、準備に全力を尽くしてください。

【橋本大臣】

安倍総理、ありがとうございました。

それでは、報道関係者は退室をお願いいたします。

[プレス退室]

【橋本大臣】

本日の会合は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。